

クリスマスページェントの紹介 — 池田教会日曜学校

にしむら 西村ひかり・これえだ ゆり 是枝有里（日曜学校教師）

池田教会では、毎年クリスマス礼拝の後に、教会全体でクリスマス祝会をしています。ここで、日曜学校の生徒も、歌ったり、ハンドベルを演奏したり、紙芝居を披露したりと、毎年工夫をこらしていますが、クリスマスページェントはしていませんでした。日曜学校教師会で、ページェントを通して子どもたちに、クリスマスの物語を心に刻んでもらおうということになり、一昨年から始めました。

1年目は教師だけが出演者になりました。脚本は、日曜学校教師（作・是枝有里）がたいへんシンプルに作ってくれました。というのは、そろって練習する時間は取れないということで、はじめから即興劇として作ったからです。

台本を登場人物の数に合わせて印刷し、それぞれの台本に役名を書いておき、簡単な衣装を用意しておきます。当日、くじ引きのように台本を引き当てて、当たった役をその場で演じるのです。

それぞれの台本には、セリフの部分に赤線が引いてあります、用意してあった衣装をはおって、台本片手に、その役になりきります。時々アドリブを加えて、大爆笑のページェントになりました。

2年目には、同じ台本で、子どもたちにも加わってもらいました。昨年、一度見ているので、子どもたちもすんなりとイメージをつかむことができたようです。

今後も続けながら、新たな場面を加えたり、違う場面に入れ替えたりと、進化していくことと思います。

クリスマスページェント台本 「神さまのお約束」 是枝有里 作

〔登場人物〕

語り手、マリアさん、ヨセフさん、ガブリエル、宿屋さんA、宿屋さんB、羊飼いい1、羊飼いい2、羊飼いい3、羊1、羊2、天使1、天使2、天使3、博士1、博士2、博士3、
奏楽者（オルガン・リコーダー）

語り手① ずっと昔、ユダヤの国の人々は、かみさまの約束を長い長い間、待っていました。その約束というのは救い主イエスさまの誕生です。

マリアへのお告げ

戸 ★こどもさんびか「かみさまのおやくそく」1、2番

語り手② ユダヤの国、ナザレという町にマリアさんという女の人がいました。マリアさんは大工のヨセフさんと結婚することになっていました。

〈マリア登場〉（ひざまずいて祈る）

語り手③ ある日のこと、天使ガブリエルがマリアさんの所にあらわれました。

〈ガブリエル登場〉(手をあげて)

ガブリエル マリアよ、おめでとう。

(マリア 顔をあげる)

ガブリエル あなたは、もうすぐ男の赤ちゃんを産むでしょう。その名前をイエスと名づけなさい。

マリア (おどろいて) えっ、私が? でも私はまだ結婚してませんのに……。

ガブリエル マリアよ。生まれてくる赤ちゃんは、かみさまのご用をするのです。かみさまにはなんでもできないことはありません。

マリア はい、わかりました。おことばどおり、この身になりますように。

〈♪ BGMでガブリエル・マリア退場〉(何か静かな曲)

宿さがし

語り手④ そのころ、人口調査があり、マリアさんとヨセフさんは、ベツレヘムの町へ出かけて行きました。もうじき、赤ちゃんが生まれるのでヨセフさんは、マリアさんをいたわりながら旅をしました。

〈マリア・ヨセフ 手をつないで真ん中へ〉

マリア ずいぶん来ましたね。

ヨセフ マリアさん、つかれたでしょう。宿屋をさがしましょう。

〈宿屋A、宿屋B 登場〉

マリア 戸とんとんとん やどやさん (★こどもさんびか「宿さがし」)

ヨセフ どうかひとばん とめてください

宿屋A 戸どこのおへやも いっぱいですよ。

マリア・ヨセフ・宿屋A 戸こまった こまった どうしましょう

宿屋A 戸むこうの やどやへ行ってください。

宿屋A どうもすみません。ごめんなさい。

ヨセフ しかたないですね。

〈ヨセフ・マリア 宿屋Bの所に行く ♪間奏〉

マリア 戸とんとんとん やどやさん (★こどもさんびか「宿さがし」)

ヨセフ どうかひとばん とめてください

宿屋B 戸どこのおへやも いっぱいですよ。

マリア・ヨセフ 戸こまった こまった どうしましょう

宿屋B 戸まごやならば あいています。さあさあ どうぞ おはいりください。

宿屋B さむかったでしょう。さあ、どうぞどうぞ おはいりください。ゆっくり休んでください。

ヨセフ ありがとう。マリアさん よかったですね。

マリア ええ、ほんとうに……ありがとう。

語り手⑤ ヨセフさんとマリアさんは、馬小屋に泊めてもらうことになりました。そしてその夜、イエスさまがお生まれになりました。

(会場の人 全員で) ♪「きよしこの夜」1番のみ
全員(会場の人もみんな)で歌う。(奏楽 リコーダー)

野原の羊飼い

♪ ★こどもさんびか「わたしはちいさいひつじかい」1番のみ
〈歌に合わせて羊飼い、羊 登場〉(羊飼い 座る。羊 うずくまる)

語り手⑥ その頃、ベツレヘムの野原では、羊かいたちが、夜通し羊の番をしていました。

羊1 メエメエメエ。静かな夜だなあ。

羊2 メエメエ。お星さまがキラキラしている。

羊1 メエメエ。今夜は何かが起こりそうだなあ。

羊2 メエメエ。きっと何かあるわ。

羊1と羊2 メエメエ。メエメエ。

羊かい1 羊たちがさわいでいるけれど、どうしたのだろう？

羊かい2 そうだなあ。

羊かい3 みんな、静かに……。おや？ 何か聞こえるよ。

♪リコーダー「みつかいくだる」最初の8小節のみ(メロディーのみ)

〈リコーダーに合わせて、天使 登場〉

天使1 (手をあげながら) おどろくことはありません。今日、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。

天使2 救い主、イエスさまはベツレヘムの馬小屋のかいばおけの中にねむっておられます。

天使1と天使2 さあ、行ってごらん下さい。

羊かい1 イエスさまがお生まれになったんだって。

羊かい2 さあ、みんなで会いに行こう!!

羊かい・羊の全員 行こう、行こう。(立ち上がって退場)

ベツレヘムの馬小屋

♪ ★こどもさんびか「わたしはちいさいひつじかい」(メロディーのみ。次の馬小屋のシーン、全員がスタンバイするまで演奏)

〈ヨセフ、マリア(赤ちゃんをだっこして) イスにすわる(真ん中に)〉

〈宿屋、ガブリエル、天使も 二人の横に立つ〉

語り手⑦ 羊かいたちは、急いで行きました。そして、やっとのことで、ベツレヘムの小さな馬小屋を見つけました。

羊かい・羊 ♪トントントン もしもし もうーレイエスさまが おうまれなったという うちも しやこちらでないでしょうか(★こどもさんびか「羊飼い」)

ヨセフ はい、そうです。どうぞおはいりください。

羊かい・羊 ありがとう。

〈そのままステージ上にすわる〉

東の国のはかせたち

語り手⑧ その頃、遠い東の国からはるばると、たずねて来たはかせたちがおりました。はかせたちは、星をたよりにラクダにのってやって来ました。

〈はかせたち 客席の間を通過して前に来る。ヨセフ・マリアに向かって〉

はかせ1 私たちは、遠い東の国のはかせです。

はかせ2 ふしぎな星にみちびかれてやって来ました。

はかせ3 私たちのすくいぬし、イエスさまをおがませてください。

ヨセフ・マリア ありがとう。

はかせ1 私は黄金（おうごん）をささげます。

〈ひざまずいて、マリアの前に黄金をささげて、ステージ上に並ぶ〉

はかせ2 私は乳香（にゅうこう）をささげます。

〈はかせ1と同じようにする〉

はかせ3 私は没薬（もつやく）をささげます。

〈はかせ1と同じようにする〉

語り手⑨ こうして、羊かいたちと羊たち、また、はるばるとやって来た東の国のはかせたちは、ベツレヘムの馬小屋で、救い主イエスさまのお誕生をお祝いしました。これが世界ではじめての本当のクリスマスです。

月 ★こどもさんびか「もろびとこぞりて」1番のみ
全員（会場の人もみんな）で歌う。



写真は、2012年に教師のみで演じたときのものです。台本を片手に持ちながらも、それぞれアドリブを効かせて笑いをさそっています。